



一般社団法人
カメラ映像機器工業会
Camera & Imaging Products Association
〒108-0023 東京都港区芝浦 3-8-10 MA 芝浦ビル 3階
TEL. (03) 5442-4800 (代表)

PRESS RELEASE

2020年2月3日

一般社団法人カメラ映像機器工業会 (CIPA)

2020年カメラ等品目別出荷見通し

一般社団法人カメラ映像機器工業会 (CIPA: 代表理事会長 真栄田雅也) は、このほど 2020 年カメラ等品目別出荷見通しをまとめた。

1. 2019年出荷実績

デジタルカメラ総出荷前年比は 78.3%、主力のレンズ交換式は 78.6%。

2019年(1~12月累計)のデジタルカメラ総出荷実績は15,216,957台(別表は万台単位とした)、対前年比78.3%となった。

1999年、デジタルカメラの黎明期に統計を開始して以降劇的なまでの市場拡大が続けたが、2009年に初めて減少、東日本大震災やタイ国洪水の影響があった一方でスマートフォンが台頭し始めた時期とも重なる2011年からは減少が続き、2017年こそ増加に転じたものの、2018年、2019年と前年割れが続くこととなった。

カテゴリ別では、高付加価値・高単価商材であるレンズ交換式デジタルカメラの出荷台数がいまや過半数を占めるが、同カテゴリも前年の水準に届かなかった。

レンズ一体型デジタルカメラ(いわゆるコンパクトデジタルカメラ)は6,755,467台、対前年比78.0%。

レンズ交換式デジタルカメラ(一眼レフ、ミラーレス)は8,461,490台、対前年比78.6%。

同カテゴリの中ではミラーレスが健闘、一眼レフが対前年比68.0%に留まったのに対してミラーレスは95.6%であり、前々年との対比で100%を超えていた前年の水準に迫るものとなった。

交換レンズも前年割れながら、出荷規模はレンズ交換式デジタルカメラのおよそ1.7倍。

交換レンズは14,236,912本、対前年比79.0%となった。

一眼レフやミラーレスといったボディー側(デジタルカメラの本体)ありきで脇役と捉えられがちであるが、スマートフォンでは望むべくもない奥の深い写真表現の追求に欠かせないのが高性能かつ個性を放つ交換レンズ群であり、当業界にとってもう一つの主役。

交換レンズの本数がボディー側（レンズ交換式デジタルカメラ）の台数を大きく上回るという以前からの傾向の通り、およそ 1.7 倍もの出荷規模となった。

地域別実績では、デジタルカメラ全体は「日本向け」81.4%、「日本向け以外」77.8%。レンズ一体型デジタルカメラは「日本向け」83.1%、「日本向け以外」76.7%、レンズ交換式デジタルカメラは「日本向け」78.5%、「日本向け以外」78.7%。

交換レンズは「日本向け」79.7%、「日本向け以外」78.9%。

「日本向け以外」より「日本向け」の低減がやや少ない傾向にはあるが、デジタルカメラ全体における「日本向け以外」の占有率はおよそ 85%と高水準を堅持しており、日本から海外へと発信、日本ブランドがワールドワイドで圧倒的な存在感を示す商材であることに変わりはない。

2. 2020 年出荷見通し

2020 年（1～12 月累計）のデジタルカメラ総出荷は、1 千 167 万台、対前年比 76.7%、内「日本向け」178 万台、76.7%、「日本向け以外」989 万台、76.7%と見通した。

タイプ別では、レンズ一体型デジタルカメラは 480 万台、対前年比 71.0%、内「日本向け」110 万台、74.3%、「日本向け以外」370 万台、70.2%、レンズ交換式デジタルカメラは 687 万台、81.2%、内「日本向け」68 万台、81.9%、「日本向け以外」619 万、81.1%と見通した。

交換レンズは、1 千 190 万本、対前年比 83.6%、内「日本向け」140 万本、84.8%、「日本向け以外」1 千 50 万本、83.4%と見通した。

2019 年の実績を鑑みて 2020 年を慎重に見通したが、誰の手にもスマートフォンがあり誰もが写真を撮る時代であるからこそ、その中から、もっと満足に行く写真が撮りたい、スマートフォンではあきらめてしまったシーンに挑戦したい、そして、心行くまで作品性の高い写真を撮りたいという新たなデジタルカメラユーザーが続々と生まれることへの期待は決して小さなものではない。

当工業会がスマートフォンでしか撮らないという方を含む国内のフォトユーザーを対象に実施した 2019 年の調査では、「1 年以内に購入したい機器」という設問で「10 代」の第一位がデジタルカメラとなり、これを報じたメディアの中には「楽しみな予兆」と評したものがあつた。

ニューカマーのハードルを引き下げるアプローチも含め、各社は意欲的な新製品を投じ続ける。当業界が再活性化に向けた挑戦の手を緩めることはない。

以上

2020年カメラ等品目別出荷見通し

一般社団法人カメラ映像機器工業会

単位：万台(レンズは万本)

品目	総出荷											
					日本向け				日本向け以外			
	2019年実績	前年比	2020年見通し	前年比	2019年実績	前年比	2020年見通し	前年比	2019年実績	前年比	2020年見通し	前年比
デジタルカメラ<合計>	1522	78.3%	1167	76.7%	232	81.4%	178	76.7%	1290	77.8%	989	76.7%
レンズ一体型	676	78.0%	480	71.0%	148	83.1%	110	74.3%	527	76.7%	370	70.2%
レンズ交換式	846	78.6%	687	81.2%	83	78.5%	68	81.9%	763	78.7%	619	81.1%
交換レンズ	1424	79.0%	1190	83.6%	165	79.7%	140	84.8%	1259	78.9%	1050	83.4%

注：数値のうち四捨五入により計算の合わないものがある。

この件に関する問い合わせ先：
 一般社団法人カメラ映像機器工業会
 E-mail：infostat@cipa.jp
 URL：<http://www.cipa.jp/>